

環太平洋国際化学会議（Pacifichem2010）に参加して

熊本大学大学院自然科学研究科 大平慎一

著者にとって2度目となる5年に1度の環太平洋国際化学会議に参加した。フローインジェクション分析に関するセッションは、Advances in Flow-based Analytical Techniques として、12月の19日と20日の2日間に渡ってホノルルコンベンションセンターにて行われた。本セッションは Ian McKelvie 先生、Gary Christian 先生、今任先生によってオーガナイズされ、2日間にわたって24件の口頭発表と17件のポスター発表が行われた。

筆者は、このセッションに合わせる形で18日にハワイ入りした。19日の初日はあいにくの雨模様で、筆者も急遽ホテルのフロントで傘を借りて、運河沿いを歩いて会場へと向かった。到着すると会場には早朝にもかかわらず、多くの参加者がおり Gary による FIA と FIA 学会の歴史が紹介されていた。最近、FIA の学会に参加させていただくようになってきた筆者にとって FIA 学会の歴史を知ることができ、また、最近参加した学会については懐かしく思いました。

初日のセッションでは、フローインジェクション分析による生体試料分析手法や検出に関する新しい手法についての講演が早朝から夕方まで行われた。その後、JFIA の主催によるパーティーが Ala Moana ショッピングセンター内の Bubba Gump で行われた。このパーティーでは、蟹や海老づくしの料理に舌鼓を打ちながら、国内外の参加者と親睦を図ることができた。その後行われたポスターセッションでは、ちょうどよい(?) 酔い加減の参加者とポスター発表者との間でさかんなディスカッションが行われていた。著者は、パーティーで十分に飲み食いしたこともあって、ポスター会場でのフリードリンクはいただかなかったが、ビールやワインを飲みながらのフランクなディスカッションが印象的であった。



図1 Bubba Gump でのパーティーの様子



図2 Gary Christian 先生から Ian McKelvie 先生へのプレゼント贈呈

二日目のセッションでは、フロー分析を生かした大気や水の環境計測手法や岩石の分析などに応用した例が多く報告された。すべての発表終了時には、セッションをオーガナイズしていただいた Ian McKelvie 先生や Gary Christian 先生へプレゼントが贈られ、参加者全員で記念撮影をした。フローインジェクション分析グループのアットホームな雰囲気を象徴したセッションであったように思います。



図3 Ian McKelvie 先生のスピーチ